

巻頭言：人と人が「対面」する場として・・・・・・・・・・・・・・・・	1
特 集：図書館総合展 1 「第 23 回 図書館総合展 2021_ONLINE_plus」ブース出展	2
図書館総合展 2 おうちで楽しむ図書館コンテンツ	3
事務局からのお知らせ	4、5
連 載：わたしのイチオシ「横浜市中心図書館～母語セットの貸出について～」	6

人と人が「対面」する場として

神奈川県図書館協会副会長（東海大学附属図書館長）

辻中 豊

新年おめでとうございます。昨年より神奈川県図書館協会副会長に就任しております、東海大学附属図書館長の辻中豊です。どうぞよろしくお願いいたします。

東海大学附属図書館は、70 年余りの歴史をもち、湘南だけでなく札幌から熊本まで、全国 7 か所のキャンパスに、およそ 250 万点の蔵書・雑誌、電子図書、データベースを所蔵し、また源氏物語写本を含む桃園文庫やカントやスピノザのコレクション等多彩な貴重図書を有しております。

2 年前に端を発した新型コロナ禍にあって、他の大学図書館同様、入構禁止や制限の措置がとられ、制限緩和後も社会的距離を保つ館内の配置等、コロナ以前のように十全な図書館機能を果たせない中、電子図書の増強やリモートでの図書資料等の利用促進につとめております。

東海大学附属図書館は、コロナ禍に加えて、旧湘南キャンパス中央図書館（4 号館）の耐震補強のための移転（11 号館等）、さらには新図書館棟の建設（The Library、2024 年度竣工予定）という新たな企画にも挑戦しています。

神図協会報でも紹介されているように、各地で衣替えが進む新しい図書館は、DX 化が進められ、外観も内部の構成も、まったく新しいコンセプト・デザインのもと、21 世紀の知識の拠点として、姿を変えつつあります。

こうした激変といってよい図書館環境の変化の中で、図書館の原点ともいわれるものが問い直されているように思えます。

コロナ禍で、学生にとっての知の拠り所は、パソコンやスマホ、つまりはインターネットを通じて覗き見る世界に急速に移行しました。彼らにとっては、アクセスできないものは、存在しないかのような状況（誤解）が生じています。

では、その中で図書館の原点としての役割は何かでしょうか。それは一種のカウンセリングとしてのレファレンスサービスであるように思えます。インターネットの膨大な情報蓄積の中で、実は多くの学生は迷子になり、袋小路に入り込み、方向感覚を見失いがちです。図書館の原点は、パソコンやスマホを通じてであれ、基本は、人と人が「対面」しあうことではないでしょうか。

特集：図書館総合展1

「第23回 図書館総合展 2021_ONLINE_plus」ブース出展

図書館総合展は、今秋で23回目を迎えた大規模なイベントです。例年、神奈川県図書館協会はフォーラム会場での講演会や、ブース会場での広報活動に参加してきましたが、令和2

(2020)年度の図書館総合展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン形式の開催となり、当協会としては参加を見送ることになりました。

令和3年度の図書館総合展は、ウェブサイトと小会場群（サテライト会場）で行うハイブリット形式で開催される事が決まり、当協会はブースページでの広報を行うことになりました。会期は2021年11月1日（月曜）～30日（火曜）と、ひと月あるので、ゆっくり見て回ることができました。

●ブース展示

広報委員会を中心に会議を重ね、コロナ禍を経て、各加盟館で作成した「オンラインで楽しめる図書館コンテンツ」を1頁にまとめたサイトを作る企画と、「神奈川の図書館一覧」を一新する案がまとまり、構成やレイアウトなどを決めていきました。加盟館の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。



ブースページ一覧

今年度、図書館総合展 ONLINE_plus へのアカウント登録者数は14,085件と、令和2年度の7,522件を大きく上回りました。コロナ禍によりオンライン行事が日常的になってきたと推測されます。

総合展の期間中、神図協ブースページの閲覧数は455件でした。例年のブース展示では、パネルや映像でPRを行い、来場者に直接アンケートをお願いして様々なご意見を伺ってきました。オンラインの場合、ウェブサイトの閲覧のみでアンケートに答えていただくのは難しかったようで、回答が集まらず課題が残りました。

図書館総合展は、サイト全体の閲覧総数が487,422件（アクティブユーザーは70,750人）と、多くの方の関心が集まるイベントです。

次の図書館総合展の開催方法は未定ですが、オンライン、オフラインいずれの場合でも、広報に有効な参加方法を検討していきたいと思います。

●神奈川の図書館一覧

令和元（2019）年度に発行した「神奈川の図書館一覧」を元にデザインを一新して発行するという企画は、思ったよりも編集に時間がかかりました。一般に開放されている公共図書館と、利用に制約がある大学図書館・専門図書館では、掲載する情報が異なります。多くの方に見ていただくリーフレットなので、分かりやすく、親しみやすい誌面作りを行いました。



「神奈川の図書館一覧」

このリーフレットはブースページに掲載したほか、紙ベースのリーフレットとしても発行し、加盟館に配付しました。リアル開催ではない分、より広範囲にアピールするため、初めて神奈川県内の県立高校にも1部ずつ配付を行いました。

早速、「校内でアピールするため、追加でいただけないか。」というお問い合わせがありました。

図書館総合展終了後、「神奈川県の図書館一覧」のPDF版は、協会ホームページに掲載しますので、ぜひご活用ください。

より多くの方が図書館を身近に感じていただけるよう、次年度の計画を立てていく予定です。

（神奈川県立図書館 伊津美 泉）

特集：図書館総合展2

おうちで楽しむ図書館コンテンツ

「第23回 図書館総合展 2021_ONLINE_plus」のブース展示で紹介した、各加盟館作成の「おうちで楽しむ図書館コンテンツ」です。コロナ禍においても、神奈川の図書館のことを知っていただく良い機会となりました。今後も紹介したい新たなコンテンツ等がありましたら、広報委員会までお知らせください。「図書館だより」の告知板や協会ホームページ等でお知らせしていきます。

各加盟館の活動

神奈川県図書館協会に加盟している
各図書館の活動を紹介します



- ・神奈川県立図書館 神奈川県指定重要文化財建造物に指定されました
- ・横浜市立図書館 100周年記念事業
2021年6月に100周年を迎えました
- ・相模原市立相模大野図書館 開館30周年記念事業
- ・平塚市中央図書館 電子図書館開設しました
- ・鎌倉市中央図書館 図書館たち読みひろい読み
- ・厚木市立中央図書館 電子図書館スタート
- ・南足柄市立図書館 館野鴻原画展及びトークイベント
- ・寒川総合図書館 15周年アニバーサリーyear
- ・寒川総合図書館「相模線に乗って図書館へ行こう」

図書館案内



- ・神奈川県立図書館 おうちでミュージアム&ライブラリー
- ・神奈川県立図書館 動画「全館&お宝ツアー」
- ・相模原市立図書館 デジタルライブラリー「おうちでとしょかん」
- ・南足柄市立図書館 オリジナル動画「図書館探検」
- ・横浜市立大学学術情報センター 図書館紹介動画
- ・関東学院大学図書館 図書館講習動画
- ・川崎市立看護大学図書館 利用案内・自宅学習編 (PDF)
- ・神奈川近代文学館
展覧会関連イベントの音声やフォトムービー等を配信

デジタルアーカイブ



- ・神奈川県立図書館 デジタルアーカイブ
- ・神奈川県立図書館 「With コロナ時代にデジタルアーカイブ・ミュージアムで楽しむ、博物館・美術館・図書館」
- ・平塚市中央図書館 デジタルアーカイブ
- ・関東学院大学図書館所蔵 貴重資料
- ・神奈川近代文学館 夏目漱石デジタルコレクション

子ども向け



- ・神奈川県立図書館 神奈川県子ども読書活動推進フォーラム
- ・平塚市中央図書館 おうちでの学習に役立つサイト
- ・鎌倉市中央図書館 「おうちにいるこどもたちへ」
- ・南足柄市立図書館 オリジナル動画「おうちでおはなし会」
- ・湯河原町立図書館 オリジナル動画「オンラインおはなしだっこ」
- ・神奈川工科大学附属図書館 図書館を探索できる図書館アドベンチャー

お役立ち情報



- ・神奈川県立図書館 神奈川県関係記事・文献情報検索
- ・川崎市立看護大学図書館 自宅学習に役立つ情報まとめ (PDF)
- ・神奈川近代文学館 データ版パネル文学展

事務局からのお知らせ

令和3年度 神奈川県図書館協会 講演会について

例年総会にて講演会を行っているところですが、本年度は総会が書面開催となりましたため、別途次の通りオンラインにて講演会を開催いたします。

参加をご希望の際は、別添の「参加申込書」をご記入のうえ、事務局までメールにてお申込みください。加盟施設の職員の方はどなたでもご参加になれますので、ぜひ多数の皆様のご参加をお待ちしております。

◆ 令和3年度 神奈川県図書館協会 講演会 「弱さから学ぶアイデアのつくり方 ～誰もが情報にアクセスできる社会をめざして～」

◆ 講演内容

2019年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が施行されたことにより、障がいの有無にかかわらず、すべての人が読書をすることができる環境づくりに注目が集まっています。

誰かが感じる「不便」は、実は多くの人が望んでいた「便利」につながるかもしれない。ひとりが抱える「弱さ」を、世界を良くする「力」に変えるアイデアのつくり方を学びながら、図書館のこれからを考えます。

◆ 講師

澤田 智洋（さわだ・ともひろ）氏
世界ゆるスポーツ協会代表理事/コピーライター
1981年生まれ。幼少期をパリ、シカゴ、ロンドンで過ごした後17歳の時に帰国。2004年広告代理店入社。映画「ダークナイト・ライジング」の『伝説が、壮絶に、終わる。』等のコピーを手掛ける。2015年に誰もが楽しめる新しいスポーツを開発する「世界ゆるスポーツ協会」を設立。
これまで100以上の新しいスポーツを開発し、20万人以上が体験。海外からも注目を集めている。また、一般社団法人 障害攻略課理事として、ひとりを起点に服を開発する「041 FASHION」、視覚障害者アテンドロボット「NIN_NIN」など、福祉領域におけるビジネスも多数プロデュースしている。著書に「マイノリティデザイン(ライツ社)」「ガチガチの世界をゆるめる (百万年書房)」がある。

◆ 開催日時

令和4年1月21日（金曜日）
13時30分～15時00分
※13時00分より受付開始

◆ 開催方法

Zoomによるオンライン配信

◆ 定員

100名まで
※加盟館職員及び個人会員の方であればどなたでもご参加いただけます。

◆ 申込先

神奈川県図書館協会事務局（担当：島崎）

・提出先メールアドレス

kla-kl@pen-kanagawa.ed.jp

別紙「参加申込書」に記入のうえ、メールにてお申込みください。

※講演会のチラシ、及び参加申込書は、神図協 HP 会員のページ内キャビネットの「R3年度」→「00-1 講演会」ファイル内にあります。

【申込み後の流れ】

※参加者には、申込書受領後、Zoom ミーティングの参加 URL と、ログイン ID・PW をメールにてご連絡いたします。当日は所属先にてご視聴ください。
※マイク、カメラがなくてもご参加いただけます。

◆ 申込締切

令和4年1月7日（金）

※締切後のお申込みは、事務局までご相談ください。



弱さから学ぶ アイデアのつくり方

～誰もが情報にアクセスできる社会をめざして～

令和4年1月21日（金）

13:30～15:00 ※13:00より受付開始
Zoomによるオンライン開催



講師：澤田智洋氏

2019年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が施行されたことにより、障がいの有無にかかわらず、すべての人が読書ができる環境づくりに注目が集まっています。

誰かが感じる「不便」は、実は多くの人々が望んでいた「便利」につながるかもしれない。ひとりが抱える「弱さ」を、世界を良くする「力」に変えるアイデアのつくり方を学びながら、図書館のこれからを考えます。

* 定員

100名まで

* 申込方法

加盟施設の職員及び個人会員の方はどなたでもご参加いただけます。

申込用紙に記入の上、**令和4年1月7日(金)**までにメールにてkla-kl@penkanagawa.ed.jpでお申し込みください。

* 問合わせ先

神奈川県図書館協会事務局
(神奈川県立図書館企画協力課内)

TEL: 045-263-5918 MAIL: klakl@penkanagawa.ed.jp

連載 わたしのイチオシ

「横浜市中心図書館～母語セットの貸出について～」

横浜市では年々外国につながる児童生徒が増加しています。各小中学校に日本語指導が必要な児童生徒が5人以上在籍していると国際教室が設置されますが、令和3年度には全487校中186校に設置されており、この5年間で倍以上になっています。

それを受けて、横浜市中心図書館では平成29年度から学校向けに母語で書かれた本のセット（以下「母語セット」）の貸出をしています。

当初は中国につながる児童生徒が多い小中学校の中から、希望する学校に年1回20冊、図書館で選んだ本を配送していましたが、ニーズの拡大を受けて令和2年度、母語セット専用の図書を購入しました。

現在、母語セット用の図書は約3,000冊。2,000冊以上は中国語です。教科書掲載作品の中国語訳を中心に、日本でよく読まれている物語の中国語訳や現地で人気の作品、勉強に役立つ本などを選びました。選定するにあたっては、中国語を取り扱っている書店にタイトルやジャンルを指定して依頼するほか、知識の本などは現地サイトからもピックアップしました。

その他にも市内在住者の多いスペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語のほか、日本語学習用の多読シリーズなども合わせて購入しました。

そして令和3年度、国際教室設置校を対象に本格的に母語セットの運用を開始しました。



中国語版の本と日本語の本
セットで貸出することもあります



各国語の『スイミー』と中国語教科書

今までは内容も送付時期も図書館のお任せで送付していましたが、今年度からは学校からのオーダーに従って本を送る方式にしました。

中国語のニーズが一番多いのですが、意外だったのは、フィリピン、ネパール、インドなどアジア圏からの子どもたち向けに、英語の図書の要望が多いことでした。そのため、今年度は英語を中心に購入し、他に学校から要望のあったネパール語、タイ語なども追加予定です。

内訳としては、教科書掲載作品の要望が多く日本語に不慣れな子どもも「授業に参加させてあげたい」という先生の気持ちがいかに強いかなを実感しました。現地の教科書や参考書的な図書も、学習支援にあたっている先生方には好評です。生徒さんが書いた中国語のメモで申し込みが来ることもあり、このサービスへの期待を感じます。

今後の課題としては、いかに学校現場のニーズに答えていくかが挙げられます。思った以上に多種多様なニーズがある中、こちらは多言語に堪能なわけではなく、専門書店にご協力いただきながら、手探りで選書しています。また、申し込みのたびに蔵書の中から選んで送付しているので、これ以上利用が増加した時の対応方法についても悩みどころです。

始まったばかりの母語セット、学校にも図書館にもプラスになるように発展させていきたいと思っています。

（横浜市中心図書館 雑賀理恵子）